

第1章 産業経済の振興

1-1 地域産業の活性化



担当課 商工振興課

主な関係課 新里支所地域振興整備課、黒保根支所地域振興整備課

基本方針

中小企業等の経営基盤の強化に向け、「ものづくりのまち桐生」が誇る優れた製品や技術を有する企業に対して必要な支援を行います。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「地域産業の活性化」の市民実感度 ^{※1}	%	19.5 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
従業者1人当たり製造品出荷額 【年間】	万円	2,996	3,000	3,000	3,000	3,000

現況と課題

- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大による地域経済への影響に加え、不安定な世界情勢に伴う原油価格・物価高騰等により、厳しい経営環境が続く中、中小企業が抱えるさまざまな経営課題に対し、適切な助言とサポートを行い、競争力の向上や経営の安定化を図ることが求められています。
- ◆中小企業は優れた技術やノウハウを有しているながら、特定の企業の受注に依存した体制や、経営者の高齢化などの課題を抱えていることから、経営基盤強化と競争力向上のため、新製品・新技術の開発や多様な販路の開拓、DX^{※2}化を通じた生産性向上や新たな付加価値の創出等を支援するとともに、創業と事業承継を促進し、産業集積の維持・発展を図る必要があります。

※1 「地域産業の活性化」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市のものづくり産業は元気で活力がある」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 DX…デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略で、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革すること。

施策の方向

1. 中小企業の経営基盤強化

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
製造業の事業所数 【各年度末時点】	事業所	468	470	470	470	470
販路開拓支援による展示会等における商談成約件数【年間】	件	135	140	150	160	170
創業支援等事業計画 ^{※3} に基づく創業者数【年間】	人	38	40	40	40	40

施策

1. 市内企業の成長支援 重点施策
2. 創業・事業承継の促進 重点施策
3. 公的融資の利便性の向上
4. 中小企業の経営合理化の促進

2. 伝統産業の保護・育成

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
桐生テキスタイルプロモーションショー ^{※4} の入場者数	人	828	850	900	950	1,000
織物記念館織物資料展示室の来館者数【年間】	人	9,419	9,500	9,600	9,700	9,800

施策

1. 桐生ブランドの発信
2. 商品開発・販路開拓の支援 重点施策

主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）

※3 創業支援等事業計画…産業競争力強化法に基づき、地域における創業の促進を目的として、市が創業支援等事業者と連携して策定する計画。
 ※4 桐生テキスタイルプロモーションショー…繊維産地桐生の活性化を目的に、市内の繊維関連企業が参加し、顧客の拡大と安定化を図るため東京で開催する展示発表会。

1-2 企業立地の推進



担当課 商工振興課

主な関係課 都市計画課、新里支所地域振興整備課

基本方針

雇用の確保と経済環境の変化に対応できる産業構造・産業基盤の強化を図るため、多様な企業誘致と市内企業の流出防止を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「企業立地の推進」の市民実感度 ^{*1}	%	12.0 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
分譲可能な新規工業団地数	団地	—	—	—	—	1

現況と課題

- ◆本市には、工場用地が少なく、また、既存の工場の周辺に住宅地が開発されるなどしたことから、住工混在が顕著で操業の制約となっており、事業拡大に当たり、拡張用地等の確保が困難なため、市外へ流出する企業も見受けられます。
- ◆コロナ禍^{*2}において、海外に移転した生産拠点、原材料・資材等の調達先の国内回帰や、近年多発する自然災害に備えるため、都市部から地方都市への生産拠点分散の動きが活発化しています。
- ◆全国的に企業誘致の競争が激化している中、新規工業団地の整備に当たっては、企業ニーズに適合した質の高い用地を選定することが重要かつ急務であり、地域資源の活用を積極的にPRしながら、地域への波及効果が期待できる優良企業の誘致や、企業の市外流出を防ぐ必要があります。

※1 「企業立地の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は企業誘致に取り組み、工場の建設などが進んでいる」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 コロナ禍…2019年末からの新型コロナウイルス感染症が招いた災難や危機的状況のこと。

施策の方向

1. 企業立地の推進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
製造業新規立地数【年間】	社	5	5	5	5	6

施策	
1. 計画的な工業団地の整備	重点施策
2. 企業誘致活動の推進	重点施策

主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）



桐生武井西工業団地

1-3 商業の活性化とにぎわいづくり



担当課 商工振興課

主な関係課 都市計画課

基本方針

市民ニーズの高い中心市街地等のにぎわいを創出するため、古くから市街地の経済活動を担うまちな顔である商店街をはじめとした商業の活性化を図ります。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「商業の活性化とにぎわいづくり」の市民実感度 ^{※1}	%	7.2 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

現況と課題

- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大をはじめ原材料費や光熱費の高騰など厳しい状況の中で、商業の活性化に向けては、経営者（後継者）の育成に加え、本市に多く存在する近代化遺産^{※2}を生かした産業観光や伝統産業・地場産業との連携、地域資源の活用など、総合的・一体的に取り組むことが課題となっています。
- ◆コロナ禍^{※3}においても起業や新店舗開設に関する相談は減少せず、市や県の支援策を活用した起業や新店舗開設の事例は増えていることから、こうした傾向を一過性でなく継続させることが課題となっています。そのため、「桐生市移住支援フロント むすびすむ桐生^{※4}」の機能強化等を図りながら、公民連携の観点で中心市街地等のにぎわい創出に向けた取り組みを推進し、事業者同士の連携につなげていく必要があります。

※1 「商業の活性化とにぎわいづくり」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市の中心市街地、商店街はにぎわっている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 近代化遺産…幕末から第2次世界大戦期までの間に、国の近代化に貢献した産業・交通・土木に係る建造物等。

※3 コロナ禍…2019年末からの新型コロナウイルス感染症が招いた災難や危機的状況のこと。

※4 桐生市移住支援フロント むすびすむ桐生…様々な人と人とのつながりにより、まちの賑わい創出や地域コミュニティの活性化を図るために設置した、移住・定住に関するワンストップ相談窓口。

施策の方向

1. 商業環境の整備

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金を活用して開業した店舗数【年間】	件	11	12	12	12	12
空き店舗活用支援資金を活用して開業した店舗数【年間】	件	1	2	2	2	2

施策

1. 魅力ある商店づくり

重点施策

2. 市街地のにぎわいづくり

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
中心市街地の空き店舗率【各年度末時点】	%	17.3	17.1	16.9	16.7	16.5

施策

1. 中心市街地活性化の推進
2. 活力ある商店街の再構築

重点施策

主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）

1-4 雇用・労働環境の充実



担当課 商工振興課

主な関係課 地域づくり課、健康長寿課、福祉課

基本方針

若者、女性、高齢者、障がい者など働く意欲のある全ての人が能力を発揮し、多様な働き方が選択できるよう、働き方改革を推進するとともに、関係機関や事業所等と連携し、雇用の安定と労働環境の充実を図ります。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「雇用・労働環境の充実」の市民実感度 ^{※1}	%	7.6 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
有効求人倍率 ^{※2}	倍	1.04	1.00以上を 維持	1.00以上を 維持	1.00以上を 維持	1.00以上を 維持

現況と課題

- ◆新規学卒者をはじめとする就職希望の若者が、市外に流出する傾向が強い中、市内企業への就職や定着を促進していくために、市内企業の魅力発信に努めるとともに、雇用の安定や労働環境の充実等を推進していく必要があります。
- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、ライフスタイルや働き方が大きく変化する中、市内企業の雇用・労働環境においてもより柔軟な対応が求められており、対応力強化を推進していく必要があります。
- ◆ウィズコロナ^{※3}の観点で社会経済活動が活発化する中、人材を求める市内企業は多くありますが、企業が求める人材と求職者の希望とのミスマッチも見受けられ、人手不足感が顕在化しています。
- ◆性別や年齢、障がいの有無に関わりなく、希望に応じた多様な働き方が選択できる雇用・労働環境の充実を推進する必要があります。

※1 「雇用・労働環境の充実」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は働きやすい環境が整っている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 有効求人倍率…雇用動向を示す指標で、桐生公共職業安定所管内における有効求職者数に対する有効求人数の割合。

※3 ウィズコロナ…新型コロナウイルス感染症との共存・共生を表す言葉。

施策の方向

1. 雇用の確保と安定化

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
合同企業説明会での面談数	件	31 (2023年度)	35	40	45	50
労働セミナーの参加者数【年間】	人	50	55	60	65	70

施策

1. 雇用の確保と安定化

重点施策

2. 労働環境の向上

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「くるみん ^{*4} 」または「えるぼし ^{*5} 」 認定を取得した企業数 【各年度末時点】	事業所	9	10	11	12	13

施策

1. 労働環境の向上

重点施策

主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）



いきいき職場で元気な社会セミナーの様子

※4 くるみん…次世代育成支援対策推進法に基づき、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣から受ける認定（くるみん認定）。

※5 えるぼし…女性活躍推進法に基づき、女性の活躍を推進している企業として厚生労働大臣から受ける認定（えるぼし認定）。

1-5 農林業の活性化



担当課 農林振興課

主な関係課 新里支所地域振興整備課、黒保根支所地域振興整備課、農業委員会事務局

基本方針

農林業の活性化のため、本市の豊かな自然環境を生かした効率的・安定的な農林業の振興を図るとともに、地球温暖化の防止や水源のかん養^{*1}等多くの公益的機能を有する農村・森林資源の保全活動を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「農林業の活性化」の市民実感度 ^{*2}	%	13.3 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

現況と課題

- ◆高齢化等により農業者人口が減少する中、大規模な農業を行う担い手の育成・確保が重要となっており、効率的で安定的な農業経営を行えるよう、意欲ある担い手への農地集積を行うとともに、認定農業者^{*3}の育成や法人化を推進する必要があります。
- ◆林業従事者や新規就業者の確保など雇用安定に向けた支援を行い、国や県、森林組合を中心とする林業関係団体との協同により、意欲ある林業経営に資するための事業を継続する必要があります。
- ◆農地・山林の維持・保全のため、有害鳥獣への対策や耕作放棄地の解消に取り組むとともに、農業用水施設等の維持管理を適切に行っていく必要があります。

※1 水源のかん養…森林に降った雨や雪などの降水が土壌に浸透し、地下水となりゆっくり流れ出ること、洪水や濁水が緩和されたり、水質が浄化されること。

※2 「農林業の活性化」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市の農林業は元気で活力がある」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※3 認定農業者…農業経営基盤強化促進法に基づき、自らの創意工夫によって経営の改善を進めようとする計画が、基準に適合するとして、国または県、市町村から認定を受けた農業者（個人・法人）。

施策の方向

1. 農業の活性化

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
農業法人数【各年度末時点】	法人	44	45	47	48	50
認定農業者数【各年度末時点】	経営体	114	115	116	118	120
担い手への農地集積率【各年度末時点】	%	23.1	24.0	24.5	25.0	25.5

施策

1. 農業の担い手の育成・確保 重点施策
2. 魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化 重点施策
3. 農産物の安全確保と地産地消^{※4}の推進
4. 環境と調和した農業の推進
5. 農業施設整備・鳥獣被害防止対策の推進
6. 農業者の出荷先の確保

2. 林業の活性化

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
森林経営計画上の計画面積【各年度末時点】	ha	9,180 (2021年度)	9,200	9,250	9,300	9,350
林業従事者数【各年度末時点】	人	49	50	50	50	50
桐生産木材の出荷量【年間】	m ³	25,141 (2021年度)	25,500	26,000	26,500	27,000

施策

1. 林業後継者の育成 重点施策
2. 林業振興と林業生産基盤の整備 重点施策
3. 林業関係団体との協力の推進
4. 森林保全・有害鳥獣対策の推進

主な関連計画

- ◇ 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（2021～2025年度）
- ◇ 第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）

※4 地産地消…地域で生産されたさまざまな生産物や資源（主に農林水産物）を、その地域で消費すること。

1-6 観光の振興



担当課 観光交流課

主な関係課 日本遺産活用室、公園緑地課、新里支所地域振興整備課、黒保根支所地域振興整備課

基本方針

交流人口の拡大や関係人口の創出につなげるため、これまで培ってきた観光資源を多様な視点で捉え直し、他にはない桐生ならではの「個性」を最大限生かすとともに、市内にある日本遺産^{※1}等を活用した周遊促進や県内外の自治体との広域連携により、観光振興を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「観光の振興」の市民実感度 ^{※2}	%	28.3 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
観光消費額【年間】	千円	2,606,054	3,089,000	3,573,000	4,056,000	4,540,000
観光入込客数【年間】	人	3,306,157	3,309,000	3,311,000	3,314,000	3,316,000

現況と課題

- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、働き方や生活そのものが変わり、新たな観光の在り方（ニーズ）へと移行してきています。本市の観光が将来にわたって継続的な発展を続けるためには、観光客を交流人口から関係人口へとつなげていく必要があります。
- ◆「シルクル桐生」の認知度が未だ低いため、アフターコロナ^{※3}の観光需要回復も見据え、まちなか周遊観光の拠点としての機能を高めつつ、認知度向上のため、より一層の周知を図る必要があります。
- ◆まつりなどのイベントを観光資源として充実し、観光客の誘致を推進する必要があります。
- ◆日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」の認知度が未だ低く、十分な活用ができていないため、情報発信の強化及び日本遺産を有する他自治体との連携強化を図る必要があります。

※1 日本遺産…地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することで、地域活性化を図ることを目的として文化庁が認定する日本の文化・伝統を語るストーリー。

※2 「観光の振興」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は観光地として市外から人が訪れたい魅力のあるまちである」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※3 アフターコロナ…新型コロナウイルス感染症の流行後の社会の在り方を問う文脈で用いられる表現。

施策の方向

1. 観光客誘致の推進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
市民主体で行う観光イベントの共催・後援件数【年間】	件	14	16	18	20	22
観光ガイドの利用者数【年間】	人	496	730	960	1,190	1,420

施策

1. 観光客誘致活動の推進 重点施策
2. まつりなどのイベントの充実 重点施策

2. 観光拠点施設の充実

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
桐生市観光物産協会ホームページへのアクセス件数【年間】	件	5,699,399	5,985,000	6,284,000	6,598,000	6,928,000
桐生市観光物産協会Instagramへの「いいね」件数【年間】	件	3,080	3,935	4,790	5,645	6,500

施策

1. 観光拠点機能の充実 重点施策
2. 観光拠点施設の活用

主な関連計画

- ◇桐生市観光ビジョン（2022～2026年度）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）



桐生市観光情報センター「シルクル桐生」